

会議要録

会議の名称	平成27年度 第1回和光市文化財保護委員会
日 時	平成27年5月27日（水） 14：00～15：00
場 所	和光市役所 5階 502会議室
出席者 ※敬称略	【文化財保護委員】9名の委員のうち6名が出席 副島元子、富岡進、後藤友子、小田部玲子、森朋久、内田はま子 ※欠席：田中明、矢崎康彦、鈴木敏弘 【事務局】 教育長 大久保昭男、教育部長 上篠乙夫、生涯学習課次長兼生涯学習課長 富岡敏光、生涯学習課副主幹兼文化財保護担当統括主査 鈴木一郎、文化財保護担当 岸勝己・中岡貴裕
傍聴者	2名

1 開会

2 教育長あいさつ

本日は平成27年度第1回文化財保護委員会ということで、お集まりいただきありがとうございます。本年度は市制施行45周年の記念ということで、教育委員会では防災協定を結んでいる市から文化財をお借りして展示会を企画しています。十日町市には国指定重要文化財をはじめ、文化財指定されている点数が150点以上あります。那須烏山市も国指定文化財を含め170点以上、佐久市も170点を超える文化財指定があります。和光市は文化財指定された資料は少ないですが、協定を締結しているところから色々な資料を借りて、自治体間交流の展示になればと思っています。ぜひ文化財保護委員各位には、展示会に当たりましてはご助言ご支援を賜れれば幸いです。本日の会議がスムーズに進行されますよう、よろしくお願ひいたします。

○事務局より説明・報告

- 市民参加条例第12条第4項の規定による会議公開及び要点記録による会議録の公開について説明。
- 田中明委員長、矢崎康彦委員、鈴木敏弘委員からは都合により欠席の事前連絡をいただいている旨を報告。
- 関口泰典委員は平成27年2月19日付けで退任届が提出されたため、任期途中の退任となったことを報告。

3 協議・報告

議事進行については、田中明委員長が欠席のため、副島副委員長が代行。

（1）平成26年度事業報告

○事務局より資料を基に説明

○事務局より補足説明

平成26年度の新規事業として、『和光市デジタルミュージアム紀要』（第1号）を平成27年3月15日付けで発行した。和光市教育委員会職員による執筆、文化財保護委員の富岡進委員の御講演録、中尾七重氏・坂本稔氏・伊郷吉信氏による論稿を掲載した。中尾氏らは、以前ご自身らで行った旧富岡家住宅の年代調査の成果について御寄稿を依頼したところ、快諾いただいたため掲載に至ったものである。

○副島副委員長

事務局からの報告について、質問・確認したい事項等はあるか。あるいは意見等でも構わない。

すぐに意見がでないようであれば、先に議題（2）平成27年度事業計画について事務局より説明をお願いする。

（2）平成27年度事業計画

○事務局より資料を基に説明。

○事務局より補足説明

平成27年度は市制施行45周年にあたることから、生涯学習課では記念行事として特別展「出土遺物の交流と結 -自治体間交流遺跡展-」を開催する予定である。本年は防災協定を締結してから節目の年になることも考慮し、主な内容としてはこうした交流のある自治体から資料を借用して展示する予定である。展示する資料は、各自治体に共通する地下から出土した遺物に焦点をあてたものとする予定である。

○副島副委員長

以上の事務局からの説明について、質問事項、確認事項等はあるか。平成26年度事業報告とあわせて意見があればお願いしたい。

○森委員

確認だが、平成26年度の『和光市デジタルミュージアム』の閲覧者数は、前年度と比較して増減はどうなっているか。

○事務局

平成26年度は前年度に比べて閲覧者数が増加している。

○森委員

デジタルミュージアムが徐々に知られてきているということで良いことだと思う。ますます充実したものになると良い。

『和光市デジタルミュージアム紀要』は論稿3本、富岡先生の講演録1本を載せている。論稿、講演録とも、市民にとって貴重な情報だと思う。市民にこうした情報を提示できるという意味で非常に良いものができたと思っている。中岡氏の和光市域の気象災害の論稿

については、学校の先生方が教材として使えるのではないかと感じている。明治のある日の天気がどうなっていたかを調べることなどにも使えるので、将来的に活用できる貴重な情報ではないかと思う。こうした情報は一般的な学会誌の論文には掲載しづらいが、こういう研究を載せるられるのは自治体等で作成する紀要ならではである。

1点意見を述べさせてもらうと、富岡先生の御講演について、富岡先生ご自身の生年月日や御年齢が掲載されていないのだが、講演者がいつごろの生活のお話をされているかということを明らかにしたほうがよい。そうすることで、将来的により一層この講演録が活用されていくのではないかと思う。

平成27年度の特別展については、市民に様々な資料を見ていただく貴重な機会になると思う。防災協定等を締結している自治体など、他地域の情報を呈示することができるという点で良い機会なので、こうした活動を継続的に行っていただければと思う。

○大久保教育長

一昨年から生涯学習課では協定を締結している自治体と派遣交流を行っている。例えば一昨年は那須烏山に和光市の市民に現地の伝統文化を見てもらうという事業を行った。また、そのための事前学習として、那須烏山市の学芸員に和光市まで来ていただき、事前学習を行って予備知識をもって相手を訪問している。昨年は佐久市の資料館長等にきていただき、話をしてもらった上で訪問している。今年は十日町市と同様の事業を実施する予定である。

その一環として、和光市の市民に、協定を結んでいる自治体の文化財等に興味関心をもってもらえるように今回の企画をしている。

○森委員

非常に良い事業だと思う。今後も続けていただければと思う。

○副島副委員長

防災協定というと、文化財と中々結びつかないように思われるかもしれない。一昨年からの企画は、和光市に講師に来ていただき、さらにその後現地に市民が行っている。参加された方は大変満足されていた。これはとても良い姿であると思う。今年は十日町市との交流を企画しているということで、期待している。

○後藤委員

中岡氏に確認したい。『和光市デジタルミュージアム紀要』に書かれた地福寺の気象災害情報は、明治・大正期のものだけか。なぜこの質問をしたかというと、熊野神社の御神輿は元々地福寺にあったものだったという話を聞いたことがある。ただし、その経緯等はわからないという。数年前に御神輿を修理した際に徳川の紋が入っているのではないかと言われたようである。寛永寺から喜多院に運ぶ途中、川越街道の大坂であきらめてしまい、地福寺に預けたというような話があるようである。それが事実かどうか分からぬが、地福寺日並記にそうした記録は無かったかを伺いたい。江戸時代の話ではないかと思う。

○事務局（中岡）

今回の拙稿は、鎌田亮中住職の在職中に書かれた日記から気象災害情報を抜粋したものである。この亮中住職の日並記の記録は明治23年以降のものである。地福寺に所在する近世文書については今回の検討対象からは外れてしまったため、詳細は残念ながらわからない。こうした神輿のお話については、自分自身興味深いが、日並記の記録からはわからなかつた。

○副島副委員長

地福寺日並記は、市史編さんの際に活字として写されている。このような形で焦点をあててくれたのはありがたい。できたらこれはこれでいいのだが、森委員の提案にあったように、学校の教材として使えるように映像等を付け加えていければよいと思う。夢としては色々な方向にデジタルミュージアムが広がっていけば良いと思う。

その他何かご意見はあるか。

○内田委員

直接関係が無いかもしれないが、白子囃子保存会では、平成27年度から新たな楽曲に挑戦する。平成26年度からリズム等を勉強して、何年かかるか分からぬが今試みている。難しいリズムなので大変だが、白子囃子保存会としてがんばっている。

○副島副委員長

ぜひ白子囃子の活動について、平成27年度の委員会の中でまた途中経過等を報告いただきたい。その他御意見等はあるか。

○小田部委員

平成27年度の確認調査、本発掘調査について。遺跡調査会が解散する予定であることから、平成26年度と平成27年度は変更点があるようだ。変更点等は何か書いてあっても良かったのではないかと思う。

○事務局

確認調査については、変更は無い。個人住宅・個人農地の取扱いについてこれまでどおりである。それ以外の調査については、これまで事業主体者に費用面でご協力いただき、遺跡調査会が行う発掘調査の賃金等についてご負担いただいてきた。今後は事業主体者に、発掘調査に必要な作業員や重機等を直接ご用意いただくようになる。発掘調査は和光市教育委員会が直営で行う。事業主体者にご協力いただくこと自体には変わりないが、方法は少し変更となる。

○副島副委員長

考古学が専門の鈴木委員がいないところであるが、保護委員会としては新たな方法を見守っていきたいと思う。新たな方法で問題点等があるようであれば、鈴木委員にご指摘い

ただくようにしていければと思う。

平成26年度に諮問を受けた午王山遺跡出土遺物については鈴木委員を中心にまとめていただくこととなっているが、本日欠席である。事務局の方で何か伝言は預かっていないか。

○事務局

鈴木委員から欠席のご連絡とともに伝言を預かっている。現在、調査を進めている中で、鈴木敏弘委員と親交のある埼玉県文化財保護審議委員の柿沼幹夫氏にも協力をお願いしているようである。柿沼氏は、弥生時代の土器を専門とされており、埼玉県内の弥生時代研究では著名な方である。

○副島副委員長

期待したいと思う。

(1) 平成26年度事業報告、(2) 平成27年度文化財事業計画についてはこれでよろしいか。

⇒一同：異議なし。

4 その他

○副島副委員長

その他、何か事務局からあれば伺う。

○事務局

テレビのニュース等で報道されているが、各地の神社仏閣等で油のような液体による被害が生じている。それに伴い、文化庁から注意喚起があった。生涯学習課としても、文化財パトロールの一環として、注意を促す案内文を市内各寺院等に配布し、何かあれば我々や警察へすぐ連絡してほしい旨をお話をさせていただいた。

○副島副委員長

文化財を守る意識を持つてもらうことは非常に大切である。ただ、文化財を閲覧できづらくなってしまうのは残念でもある。安全への配慮から公開を行わないところもあるので、そうした点については事務局と所有者で意見交換を行っていただければと思う。

その他御意見等が無いようであれば事務局に進行をお返しする。

○生涯学習課長

現在の委員の各位の任期は、平成27年6月30日までであり、本日の会議が任期中最後の会議となる。お忙しい中ご尽力いただいた委員各位に御礼申し上げる。

委員各位には基本的には引き続き来期についても委員をお引き受けいただきたい調整させていただいているところだが、今季限りをもって、富岡進委員、後藤友子委員からはご勇退の意思を示されているので、この場でお二方からご挨拶をいただきたい。

○富岡委員

平成17年から5期10年、文化財保護委員として携わってきました。今期を最後に委員を退任させていただきたいと申し出て、ご承認いただきたいのでご報告させていただきます。各委員さんをはじめ、教育長、市の担当職員の皆さん、本当にお世話になりました。委員を外れるわけですが、文化財に対する思いは変わらないので、できるだけのことは委員以外のところで協力させていただきたいと思っていますので、よろしくお願ひします。ありがとうございました。

○後藤委員

3期6年間委員を務めさせていただきました。埼玉県の文化財保護研修会には多く参加させていただき、色々なお話を聞かせていただき大変参考となりました。文化財についてより一層興味がわいてきました。趣味の旅の中で文化財を見ると、和光市にあるものを思い出して微笑んでいます。那須烏山市の山あげ祭りがあるので、今年はそれを見に行こうと思っています。また和光市以外の地域との交流の中でも色々と協力させていただきたいと思います。ありがとうございました。

○生涯学習課長

お二方には長期にわたり委員をお勤めいただき誠に感謝申し上げる。委員をご勇退後も、ぜひとも引き続き文化財についてご協力を賜りたい。

○事務局

以上をもって、平成27年度第1回和光市文化財保護委員会を閉会する。

5 閉会